

# 「いま、わたしにできること」 ～ふだんのくらしのしあわせ体験～

「ふ・く・し」は「ふだんのくらしのしあわせ」  
について考えることです

あなたのまちの「ふ・く・し」の活動。  
どのような人が、どのような想いで、どのような活動をしているのか、あなたは知っていますか？

## 2022年 夏

近くにありながら遠かった  
「ふくし」が身近になった  
瞬間を参加してくれた子ども  
たちの言葉でお伝えしま  
す。

### 高田コミュニティカフェゆずの樹 (2022. 8. 2)



「ゆずの樹」の場所は「地域のために役立つのであれば」とオーナーさんに提供いただいたもの。高田駅付近には喫茶店がないため「ゆずの樹が地域の皆さんの憩いの場になればいいな」という想いで活動されています。四季折々の変化を楽しめる庭やみんなが自由に集える場、地域の図書室などがあります。参加された高橋さんは、名前の由来にもなっている庭の大きなゆずの樹を見て「ゆずの樹自体がとても素敵。私も図書室を利用したい」と最後に本を一冊借りて「また来ます」と笑顔を見せてくれました。

### もろおか里山倶楽部 (2022. 8. 3)



地域のみなさんが気軽にふらっと立ち寄れる場所になるように名付けられた「ふらっと」カフェ&ランチ、〇〇教室、レンタルスペースなどがあります。ちょっとしたことを誰かと一緒にやってみたい、自分ができることを誰かに伝えたい、訪れると誰かの声や笑い声が聞こえる……。参加された石橋さんが見学後に考えてくれた「いま、わたしにできること」は「いろいろな方と交流をしてお互いが楽しく暮らせるよう、自分も簡単なことでもボランティアができるとうい」ということでした。すごい！

### 文の友 (2022. 8. 8)



「ことばの理解が難しい方でも絵ならば楽しんでいただける」「うまく描こうとしなくてもいい。絵に心をこめて気持ちを届ける」  
26年前にボランティア団体文の友の活動を始めた花里さんから、活動のきっかけや忘れられないできごとなどを伺いました。  
参加者の酒井さんは「福祉＝介護＝大変そうだ」とイメージしていましたが、今回のお話を聞いて「正反対だった」と感じたそうです。体験後は、さっそく四国で一人暮らしをしているおじいさまに楽しく気持ち軽やかに絵手紙を描いたそうです。